

# おもいで映画祭

時代を彩るアイドルたちの  
魅力あふれる  
4作品を一挙上映します！



伊豆の踊子



時をかける少女



野菊の墓



ぼくらの七日間戦争

## ■伊豆の踊子 (1974年 東宝 82分)

〔監督〕西河克己〔出演〕山口百恵, 三浦友和, 中山仁

青春小説の名作として知られる川端康成の同名作の映画化。本作の特徴は、五所作品と同じく、旅芸人たちの社会的な位置を明確にしている点にある。その視点はラストの印象的なストップモーションからも見てとることができるだろう。西河克己監督にとっては、1963年の吉永小百合主演作品に次いで2度目の映画化であった。山口百恵は1970年代のアイドル歌手で、絶大な人気を誇っていた。相手役となる一高生役は公募され、まだ無名だった三浦友和が抜擢された。

## ■時をかける少女 (1983年 角川春樹事務所 104分)

〔監督〕大林宣彦〔出演〕原田知世, 尾美としのり, 高柳良一

この映画でスクリーン・デビューを果たした原田知世は、角川映画の新人募集で選ばれてテレビドラマで一躍人気を獲得、この作品により薬師丸ひろ子と並ぶ角川のトップ・スターとなった。映画は、筒井康隆が書いた少年少女向けのSF小説を原作に、ある日突然時間を超越する能力を身につけてしまった女子高校生の恋愛を描いている。大林宣彦監督は登場人物が時間を巻きもどす際に「コマ落とし」などのテクニクを縦横に使い、8ミリ映画出身ならではの映像化を施している。

## ■野菊の墓 (1981年 東映 91分)

〔監督〕澤井信一郎〔出演〕松田聖子, 桑原正, 村井国夫

旧家のいとこ同士である民子と政夫、若い二人のほのかな恋と周囲の無理解による別れ、そして民子の死と続く哀切なこの物語は、1955年に木下恵介監督が回想形式に工夫をこらしたユニークな手法で映画化した『野菊の如き君なりき』が有名である。本作はその3回目の映画化だが、澤井監督は当時人気絶頂の松田聖子から「アイドル歌手」の雰囲気を見事にめぐいさり、彼女の素顔の魅力を導きだしている。新人とは思えぬ円熟した演出力は、黙って嫁いでいく民子に無言で花を捧げる政夫という、いわば運命を受け入れる二人の姿をとらえた印象的な場面にもあらわれている。

## ■ぼくらの七日間戦争 (1988年 角川春樹事務所 94分)

〔監督〕菅原比呂志〔出演〕宮沢りえ, 五十嵐美穂, 安孫子里香

宗田理の同名小説の映画化。厳しい校則に縛られ、窮屈な学校生活を強いられている中学生。今朝も遅刻しそうな生徒が走って登校していく。校門の前には教師が立って服装検査だ。朝礼では校長が長々と教訓話を述べている。これでは不満はたまるばかりだ。無断の持ち物検査に怒った1年生の男子グループがついに無断欠席、廃校場に立てこもった。差し入れに訪れた女生徒も参加し、ほとんどキャンプのような雰囲気なかで、教師と親に対する反抗が始まった。テレビCMで人気を集めた、宮沢りえの映画デビュー作である。

## とちぶんシネマ企画

栃木市栃木文化会館大ホール 2012年 2月25日(土) 26日(日)

### 上映時間

入場は各上映時間の20分前。  
各回完全入替制

2月25日(土)

「伊豆の踊子」…………… 10:00~11:22  
「野菊の墓」…………… 12:20~13:51  
「時をかける少女」…………… 14:30~16:14  
「ぼくらの七日間戦争」…………… 16:50~18:24

2月26日(日)

「ぼくらの七日間戦争」…………… 10:00~11:34  
「時をかける少女」…………… 12:30~14:14  
「野菊の墓」…………… 14:50~16:21  
「伊豆の踊子」…………… 17:00~18:22

### チケット料金

【全席自由】

- 1回券: 500円 (税込)
- 1日券: 1,000円 (税込)

### お得な

2日間共通

フリーパス券 1,300円 (税込)

※フリーパス券は、栃木市  
栃木文化会館のみで販売  
しております。(前売りのみ)

チケット発売日 11月5日(土) チケット取扱/栃木市栃木文化会館、栃木市大平文化会館、栃木市藤岡文化会館、栃木市都賀文化会館

■主催/指定管理者 共立・環境整備・日立ビルシステム共同事業体/栃木市/栃木市教育委員会/文化庁/東京国立近代美術館フィルムセンター ■協力/株式会社 オーエムシー

<お問合せ> 栃木市栃木文化会館 〒328-0035 栃木県栃木市旭町 12-16 ☎0282-23-5678 Fax0282-23-5099  
※駐車場には限りがあります。ご来場は公共交通機関をご利用下さい。アクセス:「栃木駅」北口より徒歩15分